

第4回 一宮町中央公民館建設検討委員会 次第

日時：令和6年10月23日（水）
10時00分～

場所：一宮町保健センター3階会議室

1. 開 会

2. 議長あいさつ

3. 報告事項

- (1) 第3回一宮町中央公民館建設検討委員会議事録について

4. 議事

- (1) 一宮町中央公民館の整備に関する検討について
 - ① 基本的な考え方について

5. その他

- ・その他
- ・第5回一宮町中央公民館建設検討委員会の開催日について
11月6日（水）10時～
一宮町保健センター3階会議室

以上

第4回 一宮町中央公民館建設検討委員会

席次表

(一宮町保健センター3階 会議室 10時00分～)

○ 一宮町町議会 副議長
委員長 小関 義明

議長席

○ 一宮町子ども会育成会
会長
村山 裕紀

○ 一宮町女性会
会長
長島 豊美

○ 一宮町つくも会
会長
齋藤 繁美

○ 一宮町ボランティア連絡協議会
会長
柳澤 伸子

○ 公募委員
福邊 克吉

○ 公募委員
中村 雅紀

○ 公募委員
鈴木 祐子

○ 一宮町町議会
総務経済常任委員長
川城 茂樹

○ 一宮町町議会
厚生文教常任委員長
藤井 幸恵

○ 教育委員会
教育長職務代理者
小高 隆

○ 教育委員会
教育委員
立花 亜由美

○ 一宮町社会教育委員会議
議長
大場 謙次郎

○ 一宮町文化協会
会長
渡邊 恵之助

○ 一宮町区長会
会長
藤井 敦

事務局

事務局

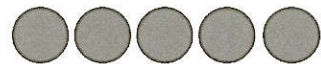
事務局

(株) 榎本建築設計事務所

傍聴席 (5席)



傍聴席 (5席)



出
入
口

会 議 録

件 名： 第3回一宮町中央公民館建設検討委員会
年 月 日： 令和6年9月25日（水） 10:00～12:00
場 所： 一宮町保健センター 会議室
出席委員： 小関義明委員・川城茂樹委員・藤井幸恵委員・小高 隆委員・立花亜由美委員
渡邊恵之助委員・鶴沢清永委員・藤井 敦委員・村山裕紀委員・長島豊美委員
吉野繁徳委員・柳澤伸子委員・福邊克吉委員・中村雅紀委員・川田しのぶ委員
鈴木祐子委員
欠席委員： 大場謙次郎委員・岡田一人委員・齋藤繁美委員
事務局： 教育課 渡邊課長・山口副主幹・宇野主査・中村主査補・田中
関係課職員： 総務課 高田課長・企画広報課 渡邊課長

1 開会

2 委員長挨拶 小関委員長

3 報告事項

(1) 第2回一宮町中央公民館建設検討委員会議事録について
前回議事録を事務局が読み上げました。

(2) 住民ニーズ調査結果について
アンケート調査・タウンミーティング・グループインタビューの中間報告書を資料として委員にお配りし、事務局より説明を行いました。

【意見】 藤井敦委員

アンケート調査報告書の概要版の設問（4）「新しい中央公民館について」、文書に建設費10億円の記載がされていない。

【回答】 事務局

概要版のため記載されていませんが、後日作成するアンケート調査報告書の完成版には記載されます。

【質疑】 鈴木祐子委員

アンケートの回答率 36.4%であるが、目標とする回答率はどのくらいを想定していたのか。また1票を集めるのにどの程度費用がかかったのか。

【回答】 事務局

アンケート調査・タウンミーティング（住民対話集会）・グループインタビュー（各種団体聞き取り調査）を全て含めて、ちばぎん総合研究所に約360万円で業務を依頼しています。アンケート1票当たりの金額算定は難しいですが、これまで町で行ってきた他のアンケート調査の費用と比較しても、特に変わりはありません。アンケートの有効性について、一宮町民約12,000人に対して728サンプルの回収があり、統計として信頼度のある資料であります。

3 議事

(1) 一宮町中央公民館の整備に関する検討について

事務局より、論点整理として次を説明した。

- ・本委員会の設置理由：公民館（生涯学習など教育目的の施設）の整備
- ・公民館整備予算（10億円）と10年間の公共施設整備全般の財政スケジュール
- ・公民館建設に関する国の補助制度や借入起債について
これら前提条件を踏まえ、協議願いたい。

【質疑】村山裕紀委員

財政スケジュールは、どの程度、町の執行部や議会で揉まれたものなのか。
簡単に変更して大丈夫か。

【回答】総務課長

財政スケジュールは、町議会へも説明しています。
財政の目安であり、決定ではありません。

【意見】川城茂樹委員

事務局の予算説明であれば、いくら公民館はゼロベースで議論するとはいえ予算が無いと言われたら我々が議論することはできない。町の財政状況を考慮し、ある程度は町で基本計画を示す必要があるのではないか。

【説明】事務局

事務局としては予算10億円内で公民館整備事業を行うよう言われています。
この予算内で多くの要望を取り入れるのは難しいが、この点について検討委員会からご意見を頂きたい。
国の助成制度の社会資本整備総合交付金も時間（年数）をかければ交付金がいただけるかもしれない。緊急防災減災事業債や公共事業適正管理推進事業債の利用も、一宮町の公民館建設費用として利用できる条件に当てはまっていないが、可能性がまったく無いのではなく、来年や再来年に建設する場合、すぐに国からの助成金を得ることは難しいと申し上げている。

【意見】渡邊恵之助委員

せっかく検討委員会を開いて意見を交わしているだから、防災面はこうしよう、図書室はこうしたい等、最低限思いつく意見を出して、次回の検討委員会へ繋げられないと検討委員会の意味がなくなってしまう。当初は新築か改修かを決めたらどうかと思ったがそれも乱暴な話なので、公民館の中身の話をしながら、外枠（事業の進め方など）を決めて行くのが良いと思う。

【意見】福邊克吉委員

アンケート調査結果を見ると現状の公民館に50%以上が満足又は普通となっている。この結果やタウンミーティングの意見を参考に、欲しい内容を出すのが建設的。

【意見】小関義明議長

今回の検討委員会で出された意見を何点かに絞り、事務局でシミュレーションを行い提示してもらうのはどうか。

【意見】川田しのぶ委員

町民全体で公民館のニーズ調査をしている以上、お金がないから出来ないと言うのは難しいと思う。観光促進や企業誘致等で町がお金を増やすことを考えるしかない。今あるもの（財源や条件）で出来ることを我々検討委員会で考えたあとに、町の議会等で議論していただく。

【意見】小高隆委員

その他にも基金を作り、お金を積み立てる方法もある。整備の方法は2つあり、ひとつは10億円を超えても町民の要望を取り入れた建物を造る。もうひとつは耐震改修と合わせて空調やエレベーターの設置等、公民館のリフォームを行い最小限の費用に収める。公民館等の文化施設は国の補助金がほとんどをないため、緊急性の高い部分の改修を行い、要望の多い設備は将来に向かって積立を行い整備するのが良いと思う。

【意見】渡邊恵之助委員

住民ニーズ調査結果を一度拝見した上でもう一度我々で意見を出し合い、優先順位を決めていくのはどうか。

【意見】川田しのぶ委員

せっかく委員が集まっているので、アンケートの中からどれをやってみようとか決められないか。例えば公民館のスリッパ利用が不便との意見が多く寄せられているが、「明日から変えよう」と言えば簡単にできると思う。これだけでも不満点の1つを解決できるし、悩まなくても良いものもあると思う。町民が一人でも、建設検討委員会がすぐに動いてくれた、と思えばもっと多くの方が目を向けてくれるのでは。

【意見】福邊克吉委員

ニーズ調査では防災面の意見が多く寄せられている。
役場庁舎は防災拠点（災害対策本部）として建てられているのだから、新たな防災拠点は不要。町民が欲しいのは快適な避難所であり、どこまでそれをもとめるかだと思ふ。

【説明】事務局

本日の検討委員会で整備方法や場所について決定してくださいと言うつもりはありません。各委員の考えはもちろん、アンケート調査などの内容が重要なので、次回の検討委員会でもご意見を頂きながら進めていきたい。

当初からお示ししている10億円の制約が出てくるとは思いますが、アンケートなどのニーズ調査の結果を反映せずに結論を出す訳にもいかないと思いますので、10億円を念頭に置きつつ、どのような形が実現可能なのか議論して頂きたい。

【意見】藤井敦委員

10億円の中で建てられる規模のものは何か、一度設計事務所を招いて話を聞いてみたい。町には、道の駅やサーフタウンの構想があるが、こちらに割く予算があるなら、我々住民が活用する施設に予算を割けないのか。

【意見】 川城茂樹委員

公民館ありきで進んでいるが、アンケート調査結果を見ると複合施設を求める声が多い。まずは複合施設（地域交流センター）にするのか、公民館（教育目的の施設）にするのか採択した方が事務局もシミュレーションを作りやすいと思う。

【説明】 事務局

シミュレーションをするにも必要な設備や大きさなどの規模の条件が示されないと作成が難しい。他市町村の事例を参考に、例えば一宮町で長生村と同じような交流センターを建設する場合、どのくらい費用や年数がかかるのかを調べることは出来ません。

【意見】 藤井幸恵委員

予算ありきでなく、町全体の半数以上いる公民館を利用していない人がどうすれば今後は公民館を使うのか、中身についてきちんと議論したい。

本検討委員会は5回で報告書をまとめる方針だが、時間が足りないと思う。

公民館整備が後に遅れるとますます建設費用がかさみ、その後の他の施設の事業が遅れる負のスパイラルに陥る。今後どのようなスケジュール感でいたら良いか。

【回答】 事務局

今回の公民館検討会が厳しいスケジュールであることは承知しています。

様々な意見がある中、5回の会議でまとまるかどうか、見通しが立っていませんが、結論が出ない中で終了する訳にはいきませんので、検討委員会議の期間が延びるのはやむを得ません。5回にこだわらずに議論願いたい。

【説明】 事務局

ご意見のありました建設シミュレーションの内容は建物の規模別の金額などによろしいか。他市町村の既存施設を参考にすることになります。

移設の場合は買収・造成・道路の新設といった付帯設備費もかかります。

【意見】 藤井敦委員

例えば保健センター西側駐車場に公民館を建てる場合、現在の施設（公民館）を使用しながら新築できるので、そのパターンも考えられる。

【説明】 事務局

次回の検討委員会も引き続き基本的な方針を議題としていきます。

事務局で他町村の事例を参考に、いくつかの建設パターンを資料として提示します。アンケート結果等を踏まえて、改めて委員の皆さまよりご意見頂きたい。

4 その他

第4回一宮町中央公民館建設検討委員会の開催日について

10月23日（水）10時～

一宮町保健センター3階会議室

5 閉会

議事 一宮町中央公民館の整備に関する検討について

① 基本的な考え方について

一宮町中央公民館の整備方針を検討するための資料として、①～⑥の想定パターン（仮プラン）を作成しました。
想定パターンは仮に立てた理論であり、内容全てにおいて未定のもので

なお、建設費用は1㎡当たり 新築：約90万円 ・改修：約45万円 で試算しています。

建設工事には、館内LAN工事や備品購入、引越費用などを含みます。
なお、事業費やスケジュールは、数年後の社会情勢や物価の変化等により内容が変わる可能性があります。

試算上の設計費は施工監理費も含む額とします。

パターン④と⑤では、社会資本整備交付金を活用した案を作成していますが現時点で、一宮町の都市計画として、社会資本整備交付金事業を進めていく意思決定がなされているものではありません。

パターン⑥では、旧保育所を子ども館とする案を作成していますが、現時点町の子育て計画等で、子ども館の整備などの意思決定がなされているものではありません。

想定パターンの中にある、国の補助金・交付金・交付税措置については制度上の補助率や交付率だけではなく、近年の実際の交付割合等も考慮して概ねの額を試算したものです。

なお、起債借り入れの利息支払い分については、試算に含めていません。

パターン① 新 築 （町予算のみ ・ 同じ場所に建て替え）

建設手法	新 築			
場 所	同 じ			
建物面積	7 0 0 m ²			
使用年数	6 0 年			
総事業費	1 0 億円			
国	0 円			
町	1 0 億円			
スケジュール	R7	R8	R9	R10
	設計	解体 仮公民館	建設工事	使用開始
年度別予算 (万円)	6,000	26,000	68,000	

パターン② 新 築 （町予算のみ ・ 移設して建設）

建設手法	新 築						
場 所	移 設（用地買収 約2 0 0 0～3 0 0 0 m ² ）						
建物面積	7 0 0 m ²						
使用年数	6 0 年						
総事業費	1 0 億円						
国	0 円						
町	1 0 億円						
スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	用地選定 不動産鑑定	用地買収	設計	造成工事	建築工事	使用開始	解体又は 耐震
年度別予算 (万円)	300	9,000	6,000	5,700	68,000		11,000

（注意）町内で仮試算しており、具体的な場所は想定していません。

パターン③ リフォーム+増築 (耐震改修 国補助)

建設手法	リフォーム+増築					
場所	同じ					
建物面積	リフォーム 既存	1,200㎡				
	増築 新設	400㎡ (合計1,600㎡)				
使用年数	リフォーム 既存	25年 ※10~15年は解体不可				
	増築 新設	60年				
総事業費	10億5000万円					
国	約5000万円(地域防災拠点建築物緊急促進事業)					
町	10億円					
スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	
	基本設計 補助要望	詳細設計	建設工事	建設工事	使用開始	
年度別予算 (万円)	1,000	7,000	97,000			

(注意) リフォーム部分は25年後に、解体+建て替え費用(約10~13億)が必要。
 リフォーム部分はR11~36の25年間にメンテナンス費が数千~数億円となる予想。

パターン④ 新 築 （社会資本整備交付金 都市再整備事業 国 ）

建設手法	新 築						
場 所	同 じ						
建物面積	900㎡～1,000㎡						
使用年数	60年						
総事業費	14億円						
国	4億円 (交付金 + 交付税措置)						
町	10億円						
スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	(都市再整備計画) 国補助要望		設計	解体 仮公民館	建設工事	建設工事	使用開始
年度別予算 (万円)	2,000		10,000	26,000	102,000		

(注意) 都市再整備計画事業は、計画策定にあたり、複数の基幹事業が必須です。
 高次都市施設（地域交流センター）のほか、道路・公園・下水道・市街地再開発
 誘導施設・共同駐車場など、他のいずれかの事業と連携した計画となります。
 このため102,000万円を全て交流センター建設費にすることはできません。

パターン⑤ 新 築 （社会資本整備交付金 都市構造再編集中支援事業 国 ）

建設手法	新 築						
場 所	同 じ						
建物面積	1,200㎡～1,400㎡						
使用年数	60年						
総事業費	18億円						
国	8億円 (交付金 + 交付税措置)						
町	10億円						
スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	地域版総合戦略 公共施設総合管理計画 改訂業務		都市マスタープラン改訂 立地適正化計画 策定 交付金要望			設計	解体 仮公民館
年度別予算 (万円)	0000		約3,000～5,000			11,000	26,000

R14	R15	R16
建設工事	建設工事	使用開始
140,000		

(注 意) 立地適正化計画の策定が必須です。

都市構造再編集中支援事業は、計画策定にあたり、複数の基幹事業が必須です。
 高次都市施設（地域交流センター）のほか、道路・公園・下水道・高空間形成施設
 都市機能誘導施設（医療・社会福祉・教育文化）等との連携事業となります。

このため140,000万円を全て交流センター建設費にすることはできません。

(その他)

社会資本整備交付金事業で、一宮中やGSSセンター周辺などの山間部(高台)に
 「地域交流センター+その他の都市計画基幹事業」を建設する案を模索しましたが、
 都市計画法の用途地域内が基本的に事業対象エリアであることから、用途区域変更
 のための条件整理、それにかかる費用や年数を考慮した結果、多大な期間と費用が
 かかると想定されることから、今回の会議では高台移転案の試作は見送りました。

パターン⑥ 新 築 （公共施設等適正管理推進事業債 国 ）

建設手法	新 築						
場 所	同 じ						
建物面積	1,200㎡						
使用年数	60年						
総事業費	15億円						
国	5億円 (交付税措置)						
町	10億円						
スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	子ども館 開館準備						
	公民館 空調工事	交流センター基本計画			設計	解体 仮公民館	建設工事
年度別予算 (万円)	(1,500)						
	(2,000)				10,000	26,000	

R14	R15
	使用開始
建設工事	
114,000	

旧一宮保育所を、子ども館（自習室や児童館機能）に制定。
大人用トイレや空調機器修繕など、最低限度の機能を整備する。

現況の中央公民館は2000万円で1階大会議室のエアコンのみ修繕。
大会議室のエアコンは床置き型とし、建物解体の際は、他の公共施設に移設。
1階の和室、事務室は空調機新設済み。

将来的に、2つの施設を統合。（公民館 子ども館）
新たに交流センターとして新設する。